

第35回宮崎県高等学校総合文化祭

09 放送部門要項

(第38回全国高等学校総合文化祭放送部門宮崎県予選)

【1】日 時 平成25年 9月27日(金)～28日(土)

【2】会 場 都城市 ウェルネス交流プラザ
〒885-0051 都城市蔵原町11-2
電話：0986-26-7770 FAX：0986-26-7781

【3】目 的

- (1) 県内の高校生がメディアを用いて自ら制作した作品を発表し、感動体験を共有する。
- (2) 一人ひとりが美しい日本語を味わい、表現する力を高める。
- (3) 地域の歴史や文化をたどり、発信し合うことで県内の高校生との交流を深める。

【4】発表および出品基準

(1) アナウンス部門

- ア 郷土の話題を全国の高校生に伝える内容の原稿を作り発表する。(校内の話題は不可)
- イ 発表は、番号・学校名・氏名に続いて原稿を読むものとする。発表時間は、番号・学校名・氏名を含めて1分30秒以内とする。
- ウ JPEG形式のデジタル静止画像(5枚以内)を任意で併用することができる。
- エ デジタル静止画像は、パソコンからビデオプロジェクター1台で投影するものとする。
- オ デジタル静止画像の投影は、台本に従って事務局に依頼することもできるが、原則として発表が持参したパソコンで操作するものとする。
- カ デジタル静止画像のデータは、CD-Rにより事前(9月18日まで)に提出すること。
- オ BGM・効果音は使用できない。

(2) 朗読部門

- ア 郷土にゆかりのある作家または作品の中から、原文のまま一部を抜き出し原稿とする。
- イ 発表は、番号・学校名・氏名・作者名および作品名に続いて原稿を読むものとする。発表時間は、番号・学校名・氏名・作者名および作品名を含めて2分以内とする。
- ウ CD-Rによる効果音やBGMを併用することができる。
- エ 再生と音量調整は、台本に従って事務局に依頼することもできるが、原則として発表校が操作するものとする。
- オ デジタル静止画像は使用できない。

(3) オーディオピクチャー(AP)部門

- ア 郷土の話題を取り上げた作品とする。
- イ CD-Rによるステレオ音声とJPEG形式のデジタル静止画像(25画像以内、総容量は100MB以内)を併用する作品とする。
- ウ ドキュメンタリー形式、ドラマ形式など手法は問わない。
- エ 発表時間は5分以内とする。
- ※ JPEG形式の画像を1台のビデオプロジェクターで映し出すが、Photoshopなどのソフトを利用して、1画面の中に分割した2画面や4画面を映すなどができる。但し、画面を分割する際には「縦長」の画面や小さな画面ができてしまう可能性がある。

(4) ビデオメッセージ(VM)部門

- ア 郷土に関する話題を取り上げた作品とする。
- イ 自校オリジナルのビデオ作品とする。
- ウ 発表時間は5分以内とする。

【5】規格

(1) デジタル静止画像（アナウンス部門、AP 部門）

- ア ビデオプロジェクターにより、パソコンから JPEG 形式のデジタル静止画像（アナウンス部門 5 画像以内、AP 部門 25 画像 100MB 以内）を投影するものとする。（JPEG 形式以外の形式、例えば、パワーポイントのデータなどは受け付けない。）
- イ 事務局が準備したビデオプロジェクターを 1 台のみ（1 画面）使用できる。
- ウ デジタル静止画像の投影は、パソコンと AV 機器の相性があるため、原則として各校が持参したパソコンを使用する。その際、台本に従って発表校が操作を行うものとする。
- エ デジタル静止画像データは CD-R により、事前（9 月 18 日まで）に提出するものとする。
- オ 静止画像の投影解像度は XGA（1024×768）。解像度はこの範囲内に収めること。

(2) 音声再生（朗読部門、AP 部門）

- ア CD-R に 1 作品分を再生順に録音したものとする。
- イ CD-R には CD-DA 形式で録音すること。
- ウ ディスクエラーの場合に備え、大会当日同じ内容の MD を持参する。
- エ 再生と音量調整の操作は、朗読部門・AP 部門ともに発表校が担当する。但し、朗読部門は、台本に従っての再生を事務局に依頼することもできる。

(3) ビデオ（VM 部門）

- ア DVD-VIDEO 形式（MPEG-2 コーデック・NTSC 規格 720×480 画素）で記録された DVD-R もしくは BD-R を提出すること。
- イ アスペクト比は 4:3 もしくは 16:9 とし、再生はテストパターンのアスペクト比に従って再生する。
- ウ 作品本編の前後に 10 秒間の静止画によるテストパターン（形式は自由）を録画すること。
- エ ディスクエラーの場合に備え、大会当日同じ内容の miniDV テープを持参すること。
- オ 作品の再生は、事務局で行う。

(4) 全部門共通事項

- ア バックアップ用の MD は標準モードで録音し、トラックを 1 つにまとめる。LP モード、Hi-MD は不可。
- イ 著作権など権利者の許諾が必要な場合は、出場校で所要の手続きを行うこと。（第 59 回 NHK 杯全国高校放送コンテスト要領 p21～を参照のこと）
- ウ 提出作品については、各部門とも他のコンクールに参加していないものとする。
- エ 全部門とも 3 年生の参加は妨げないが、上位大会の「2014 年度 いばらき総文」には参加できない。
- オ 全国大会出場枠に 3 年生が入賞した場合、下位より繰り上げて推薦することとする。

【6】発表順

各部門の発表順は、放送部門事務局が決定し、受付時に配布する部門プログラム上で発表する。

【7】審査講評および表彰

- (1) 審査および講評は、事務局が委嘱した各部門 5 名以上の審査員（今回、特別審査員として佐賀龍谷短期大学教授 天野紘先生を招聘予定）により行う。
- (2) アナウンス・朗読部門の予選通過者（各 25 名程度）は、大会 2 日目の朝に会場で発表する。
- (3) 各部門の入賞者数

●アナウンス部門	10 名（1 位：1 名、2 位：2 名、3 位：7 名）
●朗読部門	10 名（1 位：1 名、2 位：2 名、3 位：7 名）
●オーディオピクチャー（AP）部門	4 作品（1 位：1 校、2 位：1 校、3 位：2 校）
●ビデオメッセージ（VM）部門	4 作品（1 位：1 校、2 位：1 校、3 位：2 校）
- (4) 全国大会出場部門および発表者・出品数

●アナウンス部門	3 名（1 位：1 名、2 位：2 名）
●朗読部門	3 名（1 位：1 名、2 位：2 名）
●オーディオピクチャー（AP）部門	1 作品（1 位のみ）
●ビデオメッセージ（VM）部門	2 作品（1 位、2 位）

- (5) 初日午後には読み部門の講習会を、2日目午後には番組の講習会を行い、閉会式(表彰式など)の中で、特別審査員の天野先生に審査講評をいただく。

【8】参加申し込み

- (1) 所定の参加申し込み書を高文連事務局のホームページからダウンロードし、必要事項を記入し、直接、高文連放送専門部代表アドレス (m_housou@miyazaki-c.ed.jp) にメール添付で申し込む。その際、必ず学校代表のメールアドレスから申し込むこと。

なお、事務処理の関係上、7月31日締め切りの参加申し込み先と、8月27日締切の最終エントリーの送付先は異なるので、注意すること。

各学校からの参加申し込み締め切り

平成25年7月31日(水) 必着

- (2) 「学校番号」は、高文連ホームページを参照する。

【9】最終エントリーおよび作品等提出締め切り

- 番組タイトル、朗読作品名など変更を含む最終エントリー締め切り……8月27日(火)
最終エントリーは 以下のところへメール添付にて申し込むこと。

宮崎県高等学校文化連盟放送専門部ホームページ

www.miyazaki-h-broadcast.net

- 原稿・台本締め切り……9/18(水) 消印有効で都城西高校に送付
※原稿=アナウンス・朗読部門、台本=ビデオメッセージ・オーディオピクチャー部門
- アナウンス静止画像・朗読用効果音 BGM (ともにCD-R) 締め切り……9/18(水) 消印有効で都城西高校に送付
- オーディオピクチャー作品締め切り……9/18(水) 消印有効で都城西高校に送付
- ビデオメッセージ作品締め切り……9/27(金) 受付時に提出

原稿、オーディオピクチャー作品送付先

担当 二原 祐二(都城西校等学校)

〒885-0094 都城市都原町3405

TEL 0986-23-1904 FAX 0986-23-2853

【10】駐車場について

- 隣接する有料駐車場があります。

【11】問い合わせ先

《高総文祭放送部門 責任者》

放送専門部 専門委員 岩切 遙(日南学園高等学校)

〒887-0041 日南市吾田市東3丁目5-1

TEL 0987-23-1311 FAX 0987-23-1313

《高総文祭放送部門 事務局》

放送専門部副専門委員長 山田 聡子(都城泉ヶ丘高等学校)

TEL 0986-23-0233 FAX 0986-24-5884

【12】その他

- 個人情報保護法及び肖像権の取り扱いに関する同意書を各学校でとり、引率責任者で保管すること。